



限界に挑み!
仲間と楽しむ!



特集

四万十川桜マラソン

四万十川桜マラソン

走り出す足、支える手。 桜が咲く限り、この感動を未来へ

春の訪れとともに、四万十町を彩る桜並木。今年も3月23日、桜の開花には少し早かったですが、春の四万十川沿いを駆け抜ける「四万十川桜マラソン」がにぎやかに開催されました。3町村合併の象徴として始まったこの大会。17回目を迎えた今、ある試練が…。そんな中、ランナーを支えるボランティアの皆さん、応援で力をもろうランナー、みんなで作る感動の「走ル旅」の物語。皆さんの力で、この「感動」を未来へ！



あの日の感動！
桜マラソン
配信公開中！



写真は過去の大会のものです



1 上宮沈下橋ではランナーも立ち止まって記念撮影 2 沿道からの声援に笑顔で応えるランナー
3 暑さの中でランナーを支えた給水所のボランティアの皆さん 4 ゲストランナー熊切あさ美さんも笑顔で応援！

「みんなが楽しんで、
笑顔で帰れる大会へ」

「ランナー、ボランティア、協賛団体、町民の皆さん。この大会に関わるすべての方に感謝ですね」。そう話をしてくれたのは、この大会の実行委員長を務める川上哲男さん。
大会の一番の魅力を尋ねると、「春の四万十川の景色が楽しめるこのコース！」と誇らしげに答えてくれました。ランナーの定員割れやボランティア不足といった近年の厳しい状況については、「しっかりランナーの声に耳を傾け、分析しながら大会の魅力度を高めていきたい」と。そして「ランナーから選ばれる大会へと、これからも育てていきたい」と、今後を見据え語ってくれました。



四万十川桜マラソン大会実行委員会
実行委員長 川上 哲男 さん

町民の親睦と
新町の発展を願って…

四万十町合併を機に、平成21年に始まった「四万十川桜マラソン」。旧3町村の町民の親睦と新町の発展を願い、窪川地区、大正地区、十和地区を走り抜ける片道コースとなっています。

沿道の桜が咲き誇る中、ランナーたちは四万十川の雄大な流れを横目に、地域の方々の温かいおもてなしと声援を受けながら、思い思いにゴールを目指します。

近年の健康志向の高まりがマラソンブームに拍車をかけ、この大会も1,600名を超えるランナーの申し込みがあるなど、今では四万十町を代表する一大イベントへと成長しました。

大会の成長を支えてきた3つの絆

1,000名を超えるランナーが、6時間という制限時間の中、42.195km先のゴールを目指す四万十川桜マラソン。この大会は、「走ル旅」とも称され、毎年その旅の道中で、さまざまなドラマが生まれます。

ランナーの「走りたい」という情熱、ボランティアの「支えたい、喜んでもらいたい」という思い、そして地域住民の「盛り上げたい」という温かいおもてなし。この3つの絆が重なり合うことで、「感動」を生み、この大会は成長してきました。

今年も964名のランナーを、466名のボランティアが支え、沿道や玄関前、自宅の2階から多くの住民の皆さんが声

援を送りました。

このような温かい声援やおもてなしは、ランナーたちを励まし勇気づけます。そしてまた、ボランティアや地域の皆さんも、ランナーの一步一步前に進む懸命な姿から、元気をもらい、おもてなしの心が一層育まれていくのです。

試練の時、岐路に立つ桜マラソン
あなたの参加が力になります

長年、多くの方々に感動を与えてきた桜マラソンは、今、試練の時を迎えています。

コロナ禍以降、全国的にマラソン大会の定員割れの状況が続いており、この桜マラソンでも、令和4年度から2年連続で定員割れするなど厳しい状況となっています。その影響により参加費は減少し、大会運営費の工面も課題となっています。そして、何より深刻なのが、これまで大会を支えてきたボランティアの不足です。

地域の高齢化が進む中、桜マラソンは今、岐路に立たされており、このままでは近い将来、大会の継続が困難になるかもしれません。

この試練を乗り越えるためには、皆さんの力が必要です。ボランティア、応援、ランナー、どんな形でも構いません。一人でも多くの方が、この桜マラソンに携わることが何よりも重要です。

「四万十川桜マラソン」を未来へつなぐために、皆さんの力が必要なのです。



けいこ
中屋 桂子 さん (大正)

若い世代の子たちにも、ボランティアのやりがいを感じてもらいたい!

ランナーたちの間でも人気が高い「第6給水所」で元気におもてなしをするのは中屋さん。

「私は走れないけど、力になりたいと思ってそれでスタッフに」。第1回大会から、その明るい人柄でランナーを元気づけ、過去には事務局の許可を得て、ぜんざいや文旦、梅干しを自ら準備し提供したことも。

「この町に来て走ってくれることがうれしい!」と声はずませます。「体力が持つ限り続けるけど、若い子にも体験してもらいたいね」と、先を見据えた話をしてくれました。



としあき
前田 寿亮 さん・マツミ さん (地吉)

スタッフをやったら元気がもらえる。ランナーとの交流も生まれて楽しい!

四万十川ウルトラマラソンのボランティアを20年以上務め、表彰されたこともある前田夫婦。桜マラソンでは当初、ゴール前で応援していたが、もっとランナーを元気づけたいと思い夫婦で給水所のスタッフへ。

「頑張って走る人の姿を見よったら、逆に元気をもらう。わしらみたいな年寄りにはスタッフはもってこいや!」とうれしそうな寿亮さん。

事前に参加者名簿で名前を調べて応援したり、今ではランナーと年賀状のやり取りをするなど、マラソンを通じた交流が生まれています。



ふみえ
武市 富美恵 さん (新開町)

自分たちも楽しんでいるから、ボランティア活動だって長く続く!

第1回大会からボランティアとして大会を支える武市さん。現在は、四万十町商工会女性部、窪川支部長としてスタート会場の給水係の責任者を担っています。

「自分たちの体で協力できることは、何でもやろうね。それで町が盛り上がるなら」と武市さん。「自分らも楽しんでやるし、来てもらった人には、『楽しかった、おいしかった、いいところやった』って言ってもらいたい」。このおもてなしの心が、長きにわたってランナーを支える原動力となっているようです。



のぶゆき
中平 伸幸 さん (古市町)

1人では絶対に走れない。応援とボランティアの力は大きい!

四万十町を代表するランナーの一人である中平さん。第1回大会から現在まで連続出場しており、入賞経験もある実力者です。

そんな中平さんも、レース中は我慢の連続。辛い時、力になるのが声援で、「沿道の応援は温かい。ボランティアさんがいるから、こうやって毎年走らせてもらってます。だからいつも感謝の気持ちで走ってるんです」と。「応援がなかったら、辛くてあんなに走れませんよ」と優しく微笑む姿に、ボランティアへの感謝の気持ちがあがりました。

桜が結ぶ、それぞれの想い。 支える力と走る喜び。

桜マラソンを支える人、そして走る人。それぞれの視点から語られる桜マラソン。「支える力」と「走る喜び」が、未来へとつながる理由。そんな想いを聞いてきました。



くみこ
林 久美子 さん (十和川口)

ラン友と走る喜び、途中の苦しさを分かち合いたい!

45歳の時にマラソンを始め、これまで県外の大会にも多数参加してきた林さん。

「この大会は、桜並木、四万十川、沈下橋と三拍子そろったコース設定が最高!と魅力を語ってくれます。「沿道の皆さんやスタッフの皆さんの応援に支えられ、これまで続けてこれたことに感謝しています」。

今後も体が悲鳴をあげるまでは、「懲りずにエントリーして、スタート地点に立つことが唯一の目標です」と控えめに話してくれました。

四万十川とどろき太鼓

疲れはするけど、太鼓の音を鳴り止ませるわけにはいかない!

迫力ある力強い演奏でランナーを盛り上げるのは、「四万十川とどろき太鼓」の皆さん。

代表の武政幸美さんは、「太鼓でランナーを応援し、大会を盛り上げたいと思って毎年参加しています」。メンバーも毎年この応援を楽しみにしているようで、「太鼓の音がランナーの力になるのなら、叩き続けたい!」そんな思いで参加しているといいます。

メンバーの子どもたちも、ランナーとの交流を通じて、そのやりがいを実感しているようです。

フェアリー ピッタ ジャズオーケストラ FAIRY PITTA JAZZ ORCHESTRA

屋外での演奏はキツイけど、ランナーのリアクションがうれしい!

大正中学校音楽部と四万十高校音楽部で結成する「フェアリー ピッタ ジャズ オーケストラ」。心地よいジャズのメロディーがランナーを励まします。

四万十高校音楽部の安岡のどか先生にお話を聞くと、屋外ならではの苦労もあるようです。「普段よりしっかり吹かないと音が届かないんです。それに雨や風も…」と、過酷さがうかがえます。ただ「ランナーが演奏に応じてくれることがうれしい」と、普段の演奏会とは違った雰囲気、みんなで楽しんでいるようです。



感謝を込めて、これからも走り続ける。
第1回大会から今日まで回数を重ね、当初の大会目的は一定達成されたのかもしれない。
ただ、人との出会いや交流、親睦というものには、達成という名のゴールはありません。継続して開催することで、毎年新たな出会いや交流が生まれ、「感動」も生まれます。
変わる時代の中で、変わらぬ想いを未来へつなぐために、多くの方々の感謝に支えられ、「桜マラソン」はこれからも走り続けます。

お問い合わせ先 / 企画課 ☎22-3124



スタートの合図で一斉に1区の選手が飛び出す

「四万十川駅伝大会」開催

「第42回四万十川駅伝大会」が2月2日に開催され、19チームの選手たちが、午前10時に大正北ノ川のJA大正支所前をスタート。6区間(12.5km)を力走し、懸命にタスキをつなぎました。大会結果は次のとおりです。(敬称略)

各部門1位	小学生男子の部	小学生女子の部	中学・高校男子の部	中学・高校女子の部	一般男子の部
	田野々小学校男子A	田野々小学校女子A	四万十高校ソフトボール部A	大正中学校女子	やっちゃん駅伝部
	57分28秒	1時間02分10秒	49分11秒	1時間01分58秒	50分13秒



勢い良くスタートした「小学4・5・6年男子の部」

「四万十町窪川ロードレース大会」開催

「第61回四万十町窪川ロードレース大会」が2月2日に開催されました。

この大会は、「小学4・5・6年生の部」から「壮年の部」までの計11部門があり、当日は町内外から集まった107名のランナーたちが日ごろの練習の成果を發揮し力走。「高校男子の部」と「一般男子の部」では大会最高記録が更新されました。大会結果は次のとおりです。(敬称略)

各部門1位	氏名	所属	学年	記録
小学4・5・6年男子の部2km	田邊駿走	(田邊塾)	4	0:07:14
小学4・5・6年女子の部2km	中嶋心奏	(窪川S.C.)	6	0:08:00
中学1年男子の部3km	川口瑛大	(窪川中学校)	1	0:10:42
中学女子の部3km	坂東真菜	(旭中学校)	2	0:11:43
中学2・3年男子の部3km	窪田理人	(葉山中学校)	3	0:09:54
高校男子の部10km	高石樹	(高知工業高校)	3	(大会最高記録) 0:30:44
高校女子の部5km	穂岐山実結	(山田高校)	2	0:17:54

各部門1位	氏名	所属	年齢	記録
一般男子の部10km	濱口純平	(ミロク陸上クラブ)	19	(大会最高記録) 0:31:10
一般女子の部5km	倉松知恵美	(高知市)	54	0:28:34
壮年男子の部5km	三島康生	(Y.Y.7)	51	0:18:15
壮年女子の部5km	森加奈	(土佐A.C.)	42	0:22:39



桜マラソン大会で汗を流し、共に友好を深めた

韓国・高敞郡の代表団が桜マラソンに参加

四万十町と友好交流協定を締結している韓国・高敞郡の代表団13名が、3月23日に開催された「第17回四万十川桜マラソン大会」に合わせて来町しました。

代表団の中には、体育協会やマラソン同好会のメンバーがおり、一行は3つのコースに分かれて大会に参加し、四万十川沿いの春風を感じながら、スポーツを通じて友好を深めました。

今後もスポーツによる交流を継続し、住民同士の交流にもつながるような取り組みを協議していきます。



米奥小の北添忠校長(左)と運営協議会の村上智之会長(右)

米奥小学校運営協議会が文部科学大臣表彰受賞

米奥小学校学校運営協議会が、2月28日、文部科学省東館において文部科学大臣表彰を受賞しました。これは本協議会が平成21年から継続してきたコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進活動が評価されたものです。

これまで巣箱を作り学校林へ設置したり、アユ釣り・カーナー教室の開催など、学校と地域が連携して子どもたちの成長を支援してきました。

今回の受賞を励みに、今後も子どもたちが楽しみにしている沈下橋夏祭りなど、学校と地域が一体となった活動を継続していきます。



受賞を喜ぶ芝陽一さん(左)と井上義之さん(右)

交通安全町民会議 功労者表彰

四万十町内の交通安全関係団体で構成される四万十町交通安全町民会議で、3月7日、交通安全功労者表彰が行われました。

表彰されたのは、交通安全指導員として長年務められた、十和地区担当の芝陽一さんと窪川地区担当の井上義之さん。

交通安全指導員は、市町村長からの推薦により、高知県知事が委嘱するもので、今回受賞されたお二方は、町内の小中学校・保育所での交通安全教室や町内主要道路において街頭指導を行うなど、町内の交通安全活動に大いに貢献されてきました。今回は、その功績が称えられたものです。



各優勝チーム(上から子ども会駅伝男子、女子、勤労者駅伝)

「子ども会・勤労者駅伝大会」開催

「第41回四万十町子ども会駅伝大会」ならびに「第18回四万十町勤労者駅伝大会」が、2月9日に東又地域で開催されました。選手たちは、沿道からの温かい声援を受けながら、力強い走りですすいでいました。

大会結果は次のとおりです。(敬称略)

【第41回四万十町子ども会駅伝大会】

男子の部	団体第1位	窪川元気100%	35分06秒(大会最高記録)
女子の部	団体第1位	窪川小J.A.C	40分48秒

男子区間賞	チーム名	氏名	記録
第1区	ジョニーフィッシュ	濱崎唯斗	6分35秒
第2区	ジョニーフィッシュ	谷脇吏飛	6分50秒
第3区	はい、よねおです。	武田悠之介	6分51秒(区間新記録)
第4区	窪川元気100%	土居 祿	7分05秒
第5区	窪川元気100%	島崎一哲	6分58秒

女子区間賞	チーム名	氏名	記録
第1区	K	中嶋心奏	7分17秒
第2区	K	川崎桃子	7分48秒
第3区	仁井田サンダー	石本すみれ	8分28秒
第4区	仁井田サンダー	野村一乃	7分15秒(区間新記録)
第5区	窪川小J.A.C	友永鈴奈	7分52秒

【第18回四万十町勤労者駅伝大会】

団体第1位	ランラン	29分38秒										
区間賞	第1区	ランラン	武山弘周	5分48秒	第3区	ランラン	森澤安倫	6分03秒	第5区	ランラン	川上依武輝	5分20秒(区間新記録)
	第2区	高輪自動車	武田将英	6分17秒	第4区	ランラン	川上悠磨	5分42秒				



農家の皆さまへのお願い

今年も田植え作業の準備が町内各地で始まっています。

毎年、田植え作業を行う際には、四万十川の濁りを軽減するために「浅水代掻き」の実施をお願いしています。

代掻き時期は毎年、春の観光シーズンと重なります。増水していないにも関わらず、代掻きなどの農作業による濁水が四万十川に流出することで、遠方から四万十町を訪れた観光客の皆さまに、「美しい四万十川」を見ていただくことができない日もあります。

また、川底に泥などが堆積することで、生態系への影響も危惧されており、アユの遡上へも少なからず影響を及ぼしているなど、清流保全に向けた取り組みが急務となっています。

浅水代掻きを行うことは、濁水対策だけでなく、肥料成分の流出を防いだり、田面の凹凸が確認できることから均一になるように泥寄せが行える効果もあります。

四万十川振興室では「止水板」の利用も推奨しています。通常利用しているものよりも大きなものを町で配布していますので、ぜひご活用ください。

また依然として四万十川本流には、肥料袋や漂着ビニールなどが目につき、景観が損なわれている状況となっています。使用済みハウス用ビニールは、適切に処分・保管をお願いします。

四万十川の豊かな環境をより一層保全し、日本最後の清流として後世に引き継いでいけるよう、皆さまのご協力をお願いします。

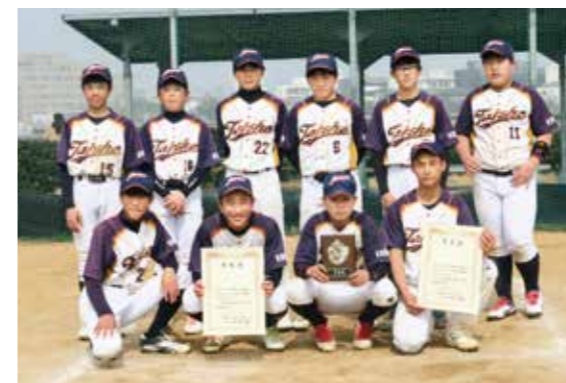


止水板
(縦60cm、横40cm)



「浅水代掻き」の動画配信中!

【お問い合わせ先】 企画課 ☎22-3124



2年連続で準優勝を収めた連合男子ソフトボール部

窪川・大正中学校合同ソフトボール部準優勝!

「第35回四国中学生男子ソフトボール強化大会」が、3月1・2日の両日、愛媛県新居浜市で開催されました。

高知県代表として出場した窪川・大正中学校連合ソフトボール部が、昨年に引き続き、準優勝という結果を収めました。

予選リーグ	6-3 池川・仁淀・尾川中学校連合(高知県)
	9-0 愛媛ウエストJr.(愛媛県)
決勝トーナメント	準決勝 7-4 土佐中学校(高知県)
	決勝 3-5 愛媛ジュニア(愛媛県)



思い出と感謝を歌に込めて、最後の校歌斉唱



41点の応募の中からデザインが決定!

思い出を胸に、未来へ歩む ～閉校、統合、そして新たなスタートへ～

昭和小学校150年の歴史に幕、閉校記念式典

昭和小学校は、明治7年に四手小学校として開校以来、150年間で3,457名の卒業生を送り出してきました。

しかし、過疎化・少子化の影響により、児童数が減少したことから令和6年度末をもって閉校し、令和7年度から十川小学校へ統合となり、校名も新たに十和小学校となります。

閉校式は、約200名の関係者が出席して盛大に行われました。昭和小学校のアーカイブ映像の放映や、全児童による校歌斉唱の後、児童から校旗が町へ返納されました。

また、閉校式終了後には交歓会を行い、参加者は懐かしい思い出話などで大いに盛り上がりました。

この閉校記念事業にご尽力いただいた皆さまに心より感謝します。歴史と伝統のある昭和小学校の閉校は、大変寂しいことではありますが、同時に子どもたちにとっては新しいスタートとなります。これからも地域の皆さまには、子どもたちを温かく見守っていただきますようお願いいたします。

新たな歴史を刻む、十和小学校・十和中学校

昭和小学校の閉校に伴い、4月より十川小学校と十川中学校の校名が新たに「十和小学校」「十和中学校」へと変更されました。子どもたちは、新しい環境で新たな仲間と共に、楽しい学校生活をスタートしています。

地域と共に歩む、新たな統一校章誕生

校名の変更により、新たな統一校章のデザインが決定しました。この校章デザインは、十和地区にお住いの方を対象にデザイン案を募集し、応募された41点の中から審査の結果、芝優奈さん(当時十川小学校6年生)のデザインが選ばれました。

新しい校章は、こいのぼりの川渡しをイメージしたもので、中央に十川の「T」と昭和の「W」を際立たせ、融和の願いを込めたものとなっています。



新しい統一校章のデザイン

● 町民一人あたりの予算額(目的別一般会計歳出)

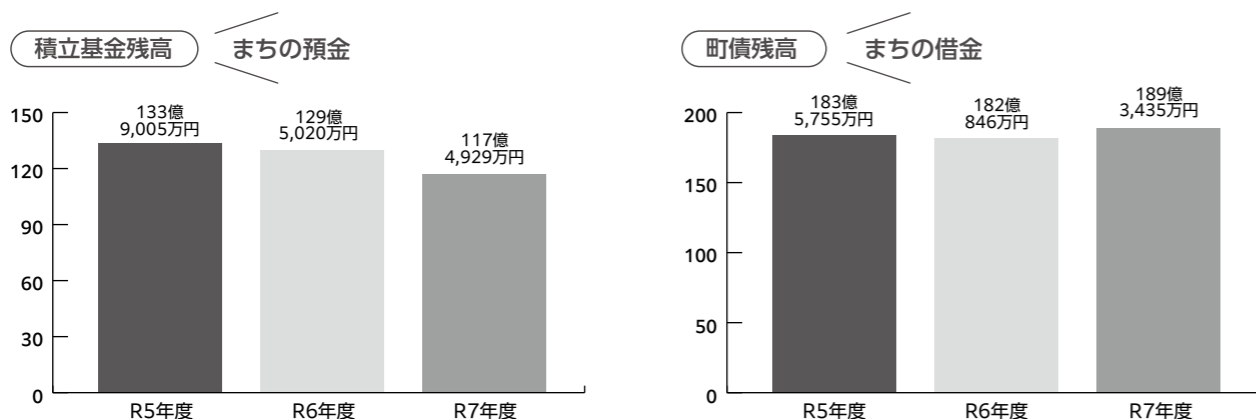
令和7年3月1日現在の人口 14,871人



※()内の金額は各目的別の全体の予算額

※総務費…一般的な管理経費や企画調整費などのほか、ふるさと納税に係る返礼品などの関連経費や基金への積立金なども含まれます。

● 基金残高と町債残高(一般会計)



● 令和7年度新規事業

- 新規** **妊婦のための支援給付金** お問い合わせ先 健康福祉課 ☎22-3115
 → 妊娠届出後と胎児の数の届出後に給付金を支給
 支給内容: 妊婦認定後(妊娠届出後)…50,000円
 出産予定日の8週間前の日以降の胎児の数の届出後…50,000円×胎児の数
- 新規** **骨髄ドナー支援事業費補助金** お問い合わせ先 健康福祉課 ☎22-3115
 → 骨髄バンク事業にて骨髄・末梢血幹細胞の提供に要した通院または入院費用を補助
 補助金額: 1日あたり20,000円(上限7日)
- 新規** **住宅断熱改修費補助金** お問い合わせ先 環境水道課 ☎22-3119
 → 戸建て住宅の断熱改修費用の一部を補助
 補助率: 補助対象経費の3分の1以内(上限1,200,000円/戸)
- 新規** **空き家家具等処分費補助金** お問い合わせ先 にぎわい創出課 ☎22-3281
 → 空き家活用のため、荷物整理や運搬、処分にかかる費用を補助
 補助率: 補助対象経費の10分の10以内(上限100,000円/戸)
- 新規** **園芸用ハウス等リノベーション事業補助金** お問い合わせ先 農林水産課 ☎22-3113
 → 既存ハウスの高度化に必要な経費の一部を補助
 補助対象および補助率
 ① ハウス本体の補強または被覆資材の高度化など…3分の1以内(1棟あたりの補助限度額333,000円/10a)
 ② ハウス内設備などの高度化につながる環境制御装置または資材整備…2分の1以内(1棟あたりの補助限度額1,000,000円/10a)

【お問い合わせ先】 総務課 ☎22-3111

令和7年度 当初予算の概要

四万十町の令和7年度当初予算が町議会3月定例会で可決されましたので、概要についてお知らせします。

● 予算編成の基本方針

- 第2次総合振興計画の推進**
～まちの将来像
「山・川・海 自然が人が元気です 四万十町」の実現～
- 人口減少の克服と地方創生を目指して**
～「デジタル田園都市構想総合戦略」に掲げた基本目標およびデジタル実装の基礎条件整備に体系付けた施策の推進～
- 中・長期的な視点に立った予算編成への取り組み**
- 町民参画と行政の透明性の向上**

以上のような基本方針のもと、一般会計における予算総額は、普通建設事業費の減少などにより、前年度と比較して3億7,000万円(1.9%)減少の191億7,900万円となりました。
また、国民健康保険事業など、8つの特別会計および水道事業会計、下水道事業会計を加えた全会計の純計(重複分を差し引いた)予算規模は251億2,897万円となっています。

● 会計別当初予算の状況

会計名	令和7年度 予算額	前年度 増減率
一般会計	191億7,900万円	▲1.9
特別会計	国民健康保険事業	21億1,670万円 ▲2.9
	国保大正診療所	4億6,190万円 10.3
	国保十和診療所	1億2,690万円 16.7
	大道へき地診療所	610万円 ▲29.9
	後期高齢者医療事業	3億7,380万円 4.9
	介護保険事業	26億1,100万円 ▲3.9
	特別養護老人ホーム窪川荘	4億2,870万円 6.4
	特別養護老人ホーム四万十荘	3億830万円 5.7
水道事業会計	10億5,028万円 8.8	
下水道事業会計	1億3,903万円 6.2	
合計	268億171万円 ▲1.2	
重複分を除く実質合計	251億2,897万円 ▲1.4	

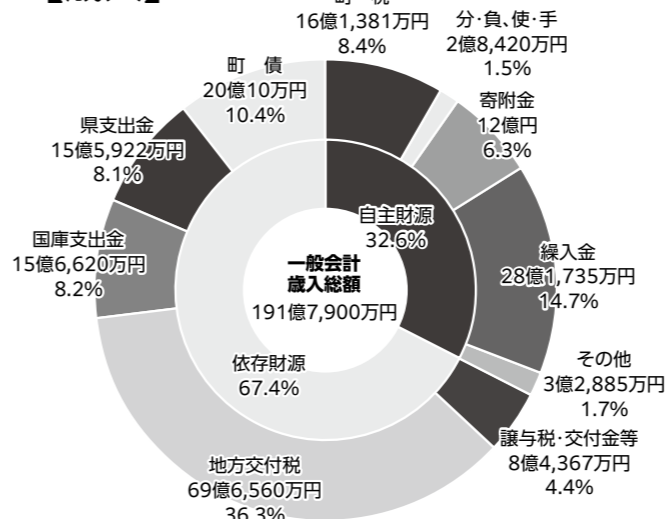
令和6年度 一般会計予算額
195億4,900万円

令和6年度から
3億7000万円減少

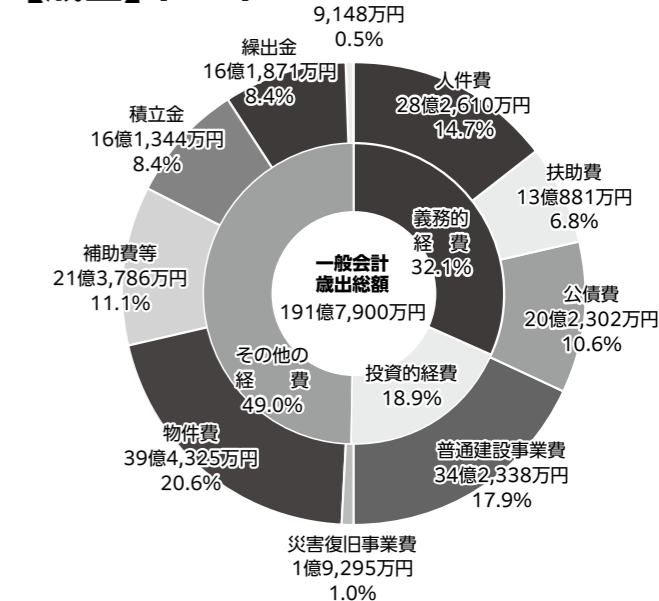
令和7年度 一般会計予算額
191億7,900万円

● 一般会計当初予算の概要

【歳入】



【歳出】 [性質別]



(7) 職員手当の状況

区分	四万十町			国		
期末手当 勤勉手当	(6年度支給割合)			(6年度支給割合)		
		期末手当	勤勉手当		期末手当	勤勉手当
	6月期	1.225ヶ月分	1.025ヶ月分	6月期	1.225ヶ月分	1.025ヶ月分
	12月期	1.275ヶ月分	1.075ヶ月分	12月期	1.275ヶ月分	1.075ヶ月分
	計	2.500ヶ月分	2.100ヶ月分	計	2.500ヶ月分	2.100ヶ月分
	職制上の段階、職務の級などによる加算措置 有			職制上の段階、職務の級などによる加算措置 有		
退職手当	(支給率)	自己都合	定年	(支給率)	自己都合	応募認定・定年
	勤続20年	19.6695ヶ月分	24.586875ヶ月分	勤続20年	19.6695ヶ月分	24.586875ヶ月分
	勤続25年	28.0395ヶ月分	33.27075ヶ月分	勤続25年	28.0395ヶ月分	33.27075ヶ月分
	勤続35年	39.7575ヶ月分	47.709ヶ月分	勤続35年	39.7575ヶ月分	47.709ヶ月分
	最高限度額	47.709ヶ月分	47.709ヶ月分	最高限度額	47.709ヶ月分	47.709ヶ月分
	その他の加算措置	なし		その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (3～45%割増)	
	退職時特別昇給	なし		退職時特別昇給	なし	

特殊勤務手	区分	割合など
	職員全体に占める手当支給職員の割合	0%
	支給職員1人当たり平均支給年額	0円
	手当の種類(手当数)	—
	手当の名称	—

時間外勤務手当	年間予算額	49,843千円
	職員1人当たり予算年額	202千円

区分	四万十町	国
扶養手当	配偶者6,500円、子10,000円、 その他の扶養6,500円 16歳～22歳の子は1人5,000円加算	配偶者6,500円、子10,000円、 その他の扶養6,500円 16歳～22歳の子は1人5,000円加算
住居手当	借家の場合、家賃16,000円を超える場合 家賃に応じて28,000円を限度に支給	借家の場合、家賃16,000円を超える場合 家賃に応じて28,000円を限度に支給
通勤手当	交通機関など利用者は55,000円まで全額支給	交通機関など利用者は55,000円まで全額支給
	交通用具使用者は使用距離に応じて 2,000～31,600円を支給 四万十町に住所を有する職員のうち、自動車などの 使用距離が片道20キロメートルを超える職員は、 20キロメートルを超える1キロメートル(1キロ メートル未満切捨て)当たり200円を加算(上限 5,000円)	交通用具使用者は使用距離に応じて 2,000～31,600円を支給
	片道2km未満の者は支給なし	片道2km未満の者は支給なし

(8) 特別職の報酬などの状況 (令和7年4月1日現在)

給料	町長	737,000円	期末手当	町長	6月期	1.40月分
	副町長	631,000円		副町長	12月期	1.50月分
教育長	577,000円	教育長	計	2.90月分		
報酬	議長	310,000円	議長	6月期	1.40月分	
	副議長	270,000円	副議長	12月期	1.50月分	
	議員	250,000円	議員	計	2.90月分	

四万十町職員の 給与の状況

令和7年度一般会計予算に計上した
四万十町職員などの給与の状況など
は、次のとおりです。

(1) 人件費の状況(普通会計決算)

区分	住民基本台帳 人口(年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 (B/A)	(参考) 4年度の人件費率
5年度	15,202人	183億8,995万円	4億360万円	24億8,471万円	13.51%	12.89%

注)令和6年度決算は、まだできていませんので、令和5年度決算額で計上しています。

(2) 職員給与費の状況(一般会計予算)

区分	職員数 A	給与費			1人当たり給与費 B/A	
		給料	職員手当	期末・勤勉手当		
7年度	247人	9億2,264万円	1億3,525万円	3億8,132万円	14億3,921万円	582.7万円

(3) 職員の平均給料月額、平均給与月額および平均年齢の状況 (令和7年4月1日現在)

区分	一般行政職			技能職		
	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均年齢
四万十町	310,126円	333,909円	41.3歳	—	—	—
国(R6.4.1)	323,823円	405,378円	42.1歳	288,144円	330,553円	51.2歳

(4) 職員の初任給の状況 (令和7年4月1日現在)

区分	四万十町	国	
一般行政職	大学卒	213,600円	220,000円
	高校卒	188,000円	188,000円

(5) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況 (令和7年4月1日現在)

区分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年	
一般行政職	大学卒	272,300円	295,500円	333,000円
	高校卒	246,200円	276,400円	300,100円

1 経験年数とは、採用前に民間企業などに勤務した期間がある場合は、その期間を換算し、採用後の勤務期間に加算した年数であるが、学校卒業後直ちに採用された場合は、採用後の年数である。総務省が定める公表様式による階層区分は、経験年数が10年・15年・20年であるが、それぞれ該当者が少数のため、近似の5年範囲の平均数値を記載。

(6) 一般行政職の級別職員数の状況 (令和7年4月1日現在)

区分	6級	5級	4級	3級	2級	1級	計
標準的な職務内容	会計管理者 地域振興局長 教育次長 課長 事務局長など	副課長・次長 室長・班長 総括主幹 総括技幹 保育所長 施設長など	副課長・次長 室長・班長 係長 主幹・技幹 保育所長 主任保育士など	主査・技査 保育教諭 保育士 保健師 助産師 社会福祉士 介護福祉士など	主任 主任技師 保育教諭 保育士 保健師 助産師 社会福祉士 介護福祉士など	主事 技師 保育教諭 保育士 保健師 助産師 社会福祉士 介護福祉士など	—
職員数	21人	43人	54人	57人	37人	35人	247人
構成比	8.5%	17.4%	21.9%	23.1%	15.0%	14.1%	100.0%

四万十町議会 定例会

施政方針

平成26年4月の就任以降、これまで11年にわたり町政を担当させていただき、令和7年度が3期目の最終年度となります。就任以降、「この町を担う人材の育成」や「町の強みを生かしたにぎわいの創出」など、公約に掲げた事項を中心に据え、全力で町政を推進してきました。

令和7年度は、3期目集大成の年と位置付けており、ここに今までの取り組みを振り返るとともに、令和7年度において特に重点的に推進する取り組みについて、その所信の一端を述べさせていただきます。

人材育成の推進

公約の大きな柱である「人材育成の推進」については、前期に引き続き「人材育成推進センター」において、「未来塾」、「四万十塾」および「産業振興塾」の3つの柱を中心に、取り組みを推進してきたところです。特に、本町の次代を担う人材の育成を目的とする「未来塾」では、町内高校の魅力化をより一層推進するため、町営塾「じゆうく。」への中学生コースの設置や、地元高校への入学に対する祝金制度の創設など、注力をしてきたところです。これにより、年によってバラ

います。

今後、この施設が一つの目的地となることで、窪川地域から大正・十和地域への人の流れ、あるいは宇和島市・松野町・鬼北町など愛媛県方面からの人の流れを生み出し、地域経済の活性化の一翼を担ってくれるものと期待しています。国道381号線は、本町の中心を東西に駆け抜け、窪川・大正・十和の3つの地域をつないでくれる重要な路線となります。特に、観光をはじめとする将来的な地域経済の成長を見据えたときに、この路線の活性化は肝心なポイントであると考えています。また、道の駅「あぐり窪川」は、全国39か所にある「防災道の駅」の1つとして国土交通省の指定も受けており、災害時の帰宅困難者の一時的な受け入れなどにも活用されます。こうしたことから、整備にあたっては国土交通省中村河川国道事務所の協力も得て行うこととしており、多目的広場やイベント広場などの機能を付加し、町内外の人々が利用可能な都市公園を目指していく考えです。

なお、財源としては、新たに創設された「新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）」を活用する予定とされています。

地域活性化起業人を活用したDXの推進

近年、国や地方が抱える課題は増加しており、行政が担うべき業務は増加の一途をたどっています。一方で、今後の人口減少や2040年問題を見据えたときに、行政組織の縮減はやむを得ない状況にあると考えています。こうした中、将来にわたり町民が必要とするサービスを提供し続けるためには、各政策などにおける事務事業の評価・検証はもちろんのこと、AIやロボティクス、大規模

ツキはあるものの、地元高校への入学者数も一定改善できたものと考えています。また、「四万十塾」および「産業振興塾」においても、高知大学と連携し、地域の活性化や起業・創業を目指す方を対象とした講座の開設や、町内事業所を対象とした社員教育研修の実施など、あらゆる面から人材の育成を支援し、少しずつではありますが、若手起業家も現れるなど、効果が出てきていると感じています。

移住定住の推進

移住・定住の推進については、本町の最重要課題である人口減少対策の柱として、注力してきたところです。その甲斐もあり、昨年度の移住実績は136組・188名と、高知市に次いで2番目に多い結果となりました。また、こうした移住された方々は、本町の基幹産業である農業をはじめ、多くの分野において活躍されており、人口減少下における労働力の確保など、幅広く本町に寄与いただいているものと考えています。

なお、宝島社が発行した直近の「住みたい田舎ベストランキング」において、人口1万人以上の町の「若者世代・単身者部門」で4位、「総合部門」で2位を獲得し、また昨年には株式会社ブランド総合研究所から発表されました「地域ブランド調査2024」の市区町村魅力度ランキングにおいて当町は全国56位、国内では1位の評価を受けており、こうした結果が四万十町ブランドの醸成、ひいては移住の促進につながっていることと感じています。

地産外商の推進

本町には数多くの素晴らしい商品があるものの、町外での知名度は高くなく地域内での消費が主体となっているものもあ

ります。そこで、令和7年度は総務省の地域活性化起業人制度を活用し、民間企業からの職員派遣を受け、DX推進体制の再構築や事業の効率化、マイナンバーカードの活用による町民サービスの向上などを推進したいと考えています。

Webサービスといった技術の活用による事務作業の簡素化など、実施プロセスの見直しが必要となるところです。そこで、令和7年度は総務省の地域活性化起業人制度を活用し、民間企業からの職員派遣を受け、DX推進体制の再構築や事業の効率化、マイナンバーカードの活用による町民サービスの向上などを推進したいと考えています。

重層的支援体制の整備

改正社会福祉法では、近年、社会情勢の変化に伴い、国民一人一人が抱える課題も複合化・複雑化する状況を受け、子ども・高齢者・障がい者・生活困窮者など、ケースごとの支援体制だけでは対応が困難となっており、包括的に支援できる体制の整備を市町村などに求めています。こうした中、令和4年10月には高知県知事、県内市町村の首長および県内の全社会福祉協議会によって、「高知地域共生社会推進宣言」が出され、どんな困難なことでも受け止め、寄り添う仕組みづくりが始まりました。

その後、本町では「四万十町第3期地域福祉計画」に体制の整備を位置づけ、令和8年度からの本格運用に向け、現在作業を進めているところですが、4月1日より、庁内に重層的支援体制整備事業推進本部を設置し、関係各課で情報の共有をはかり、包括的な取り組みを一層推進することとします。

りました。そこで、商品の付加価値を向上させ、町外からお金を稼げる事業者の育成などを目的として、平成30年度よりい創出課内に地産外商室を設置しているところですが、地産外商室では、販路の開拓や拡大、外商力強化の支援、地域商社の育成などに取り組んでおり、3期目にあつては首都圏とのB to Bを主とした販路の拡大や、「ウィズコロナ」から「アフターコロナ」への転換に向けた商談会・展示会での販路拡大などに取り組んできたところ

です。その結果、事業者へのアンケート調査では、令和4年度には10社から回答があり約1億4,600万円、令和5年度には14社から回答があり約1億4,900万円の取引があつた旨の回答がありました。

最近では、独自での販売や新商品の開発に意欲がある事業者も増加しており、外商の可能性は広がりを見せているものと考えています。

文化的施設の整備

図書館・美術館などの複合施設である文化的施設の整備については、平成29年9月の「文化的施設検討委員会」の設置を皮切りに、6年余りの歳月を駆け進めてきた事業でありましたが、令和5年9月の議会定例会において、本体工事の請負契約議案が否決となつたことから、施設建設の目処が立たない状況となりました。その後も、関係機関との協議を重ねるなど、本施設の整備に向け、新たな道の模索を続けてきましたが、残念ながら令和6年3月をもちまして事業を中止としました。

しかしながら、現行の図書館本館・美術館が抱える課題は残されたままとなつていることから、令和7年度において、現時点で施すことができる必要最低限の改修を実施したいと考えています。

町長行政報告

韓国高敞郡との交流事業

平成24年4月に協定を締結した韓国高敞郡との友好交流事業について、本年度は、高校生を対象とした教育交流を行うとともに、高敞郡と四万十町でそれぞれ行われているマラソン大会に選手を派遣し合うスポーツ交流を行うこととしており、現在それぞれの事業を実施しています。

教育交流については、高敞郡の全北人工知能高等学校と窪川高校の生徒が、互いの文化に対する理解を深めつつ、お互いにコミュニケーションをとることに

よつて、グローバルな視野を養うことを期待しており、令和6年中には、計3回のオンライン交流を行いました。これにより、1月31日に両校間において「国際交流協定」が締結されることとなり、今後は、この協定に基づき、両校の教員と生徒がオンライン授業を通じて、互いの言語や文化に対する理解を深め、相互訪問を含めた国際交流プログラムを実施することで、国際的に活躍できる人材育成を目指していきます。

また、スポーツ交流については、3月23日に開催される「第17回四万十川桜マラソン」に高敞郡より15名が来町し、全員がランナーとして大会に参加する予定です。

昨年11月に高敞郡で開催された「コインドルマラソン大会」の同好会の方々も参加される予定ですので、来町時には、本町におけるスポーツ団体などとの交流の機会を設け、民間にも交流の輪を広げ

令和7年度の重点項目

人口減少対策の推進

人口減少は、消費の減少や労働力不足を招き、それに伴い社会経済は低迷していきま

す。その結果、町民の日常生活に必要な医療・介護・福祉・交通といったサービスの縮小はもとより、地域コミュニティや地域文化の衰退など、幅広く影響を及ぼすことから、本町では人口減少対策を最重要課題と位置付け、その対策に取り組んでいるところ

です。令和7年度については、これまでと同様の取り組みに加え、昨年度に創設された「高知県人口減少対策総合交付金」を活用し、町営塾「じゆうく。」において現役の大学生を招へいするインターンシッププログラムを実施するほか、移住体験ツアーの実施や空き家の家財道具の処分

観光交流拠点施設の整備

に要する費用への補助など、新たな移住者などの獲得に向け、取り組みを強化していこうと考えています。なお、国においては、本年の夏頃に地方創生に関する新たな基本構想を策定予定であり、本町においても、これに伴い策定される国および県の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案のうえ、新たな総合戦略を策定することとしています。

ていきたいと考えています。

2月前半の寒波による被害状況

2月4日から日本列島は冬型の気圧配置が強まり上空に今シーズン最強の寒波が流れ込んだため、西日本でも広範囲において例年にな

い積雪となりました。四万十町では4日の明け方から本格的に雪が降り始め、一般車両の通行や公共交通への影響、農作物の被害などが発生しています。

今回、特に十和地域と大正地域での積雪が多く、山間部の一部の町道では50cmを超える積雪で車両の通行が困難になったことから、積雪の多い路線から順に除雪作業を行いました。また、十和地域では倒木による交通被害も発生しており、奥大地区では倒木によって町道沿いの電柱が倒れ、積雪の影響で復旧に時間を要したことから一部世帯が6日から8日にかけて孤立する事態も発生しました。

農作物などについては、積雪による露地野菜への被害や園芸用ハウスの損壊なども報告されており、高知県の調査によると四万十町の農作物などの被害額は約545万円

円となっています。今回、建設業者への急な依頼や地域の方々のご協力もいただきましたが、今後も積雪に限り雪作業を行いました。引き続き適切な対応を図っていき

たいと考えています。町民の皆さまには、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



『産後ケア』、使ってみませんか？



産後ケアとは

産後のお母さんが、医療機関や助産院の施設で、健康状態の確認や授乳のアドバイス、沐浴の練習、育児相談などを受けることができます。産後ケアには、次の3つの支援があります。

- ① 助産施設などに宿泊し、1日を通してゆっくりと心身のケアを受けることができる『**宿泊型**』
- ② 助産施設などに宿泊はせず、日中の間を助産施設などで過ごす『**通所型**』
- ③ 助産師が自宅へ訪問することで、個人やご家庭に合わせたケアを受けることができる『**訪問型**』

利用できる方

四万十町に住民票のある産後1年未満のお母さんと赤ちゃんで、産後ケアを必要とする方。

利用者の例

- 心身の不調がある
- 育児不安があり、相談したいことがある
- ゆっくり休息したい



産後ケア事業の利用回数や利用時間・利用料金・利用可能な施設(※一部施設の利用は産後4か月以内です)などの詳細については、四万十町のホームページからご確認ください。



【お問い合わせ先】

四万十町こども家庭センター「楓」

(健康福祉課内) ☎22-3115
大正町民生活課 ☎27-0112
十和町民生活課 ☎28-5112

疲労 不安 それは4月病かも？

新生活が始まる4月は、生活リズムが変化してストレスや体調不良を感じやすい時期です。季節の変わり目で日中の寒暖差や気圧の変動に体に対応するため、自律神経のエネルギー消費が増えます。そのため疲れやだるさを感じやすくなるのです。



4月病を予防するには、バランスのよい食事、適度な運動、十分な睡眠、入浴で体を温めることなどがお勧めです。

疲労や不安を感じやすいこの季節、自律神経を整え、ストレスのない快適な生活を送りたいですね。

4月の無料健康相談日

13日(日)、27日(日)です。

どうぞ、気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】

たきぐち薬局 くぼかわ店
池田 豊
☎29-0225

子育て通信

内容	日時	場所	お問い合わせ
4か月児・7か月児健診	4月16日(水)	窪川地域子育て支援センター 四万十町役場本庁東庁舎	健康福祉課 ☎22-3115
1歳6か月児健診	4月23日(水)		
赤ちゃん相談	4月18日(金)	9:30~11:30	十和町民生活課 ☎28-5112
	5月7日(水)	10:00~12:00	窪川地域子育て支援センター ☎22-3115

健康検査・がん検診

内容	日時	場所	お問い合わせ
若者健診、特定健診、後期高齢者健診、結核・肺がん検診、胃がん検診、大腸がん検診、前立腺がん検診	4月26日(土)	8:00~10:00 ※肺がん検診(9:45まで)	米奥小学校体育館
	5月9日(金)	8:00~10:00	
子宮頸がん検診	4月21日(月)	9:00~11:00	四万十町役場本庁東庁舎 1階多目的大ホール
	4月22日(火)	13:00~15:00	
乳がん検診	4月21日(月)	8:30~11:30	健康福祉課 ☎22-3115
	4月22日(火)	13:00~15:30	



からだにいいはなし

今回も認知症になりやすい方に見られる生活習慣についてお話いたします。

- ① 栄養バランスの良い食事がとれていない
- ② 身体を動かす頻度が少ない
- ③ 睡眠時間を確保できていない
- ④ スマートフォンを手放せない
- ⑤ アルコールの摂取をやめられない

筆者(大川)もドキッとしますが、このような生活を送っている方はできることから見直していきましょうね。

今回は⑤の「アルコールの摂取をやめられない」についてお話します。

特徴⑤ アルコールの摂取をやめられない

アルコールを過剰摂取し続けると、脳が萎縮し、認知機能を低下させる恐れがあります。体内に入ったアルコールは、ブドウ糖をエネルギーに変える「ビタミンB1」によって分解されます。このビタミンB1は、脳の中樞神経の機能を正常に保つ働きもあるため、心身の健康を維持するうえで欠かせない栄養素です。

しかし、大量のアルコールが体内に入ってくると、その処理に多くのビタミンB1が消費されます。そうすると、脳内のビタミンB1も減少し、萎縮につながるようです。

また、お酒を飲むときは、塩気のあるおつまみを食べながら楽しむこともありますよね。アルコールの過剰摂取に加えて、塩分過多に陥った場合は、高血圧などを引き起こし、血管性認知症にかかるリスクを高めます。

こんな話をしてしまうと、楽しいお酒が飲めなくなってしまいますよね。

休肝日をつくって、たまには家族や大切な人とお酒を飲む日をつくっていただいてもいいと思います。お酒はたしなむ程度で、毎日過剰摂取しなければよいのではないのでしょうか。

四万十町国保大正診療所 徳橋理紗・岩本啓寛・大川剛史

認知症になりやすい人の特徴

4/5



町税の納税通知書を発送します

お知らせ

令和7年度の「固定資産税」と「軽自動車税(種別割)」の納税通知書を発送します。
内容をご確認いただき、納期限までの納付をお願いします。

●固定資産税

発送日: 5月1日(木)
納期限: 5・7・9・11月の各月末です。
(月末が日曜日など休日にあたる場合はその翌日)※納め忘れのないよう計画的に納付をお願いします。

●軽自動車税

発送日: 5月1日(木)
納期限: 6月2日(月)

※身体障がい者手帳など(身体障がい者手帳・戦傷病者手帳・療育手帳・精神障がい者保健福祉手帳)をお持ちの方で、一定の要件に該当する場合、納期限までに申請することで、軽自動車税(種別割)の減免を受けることができます。
この減免については普通車を含め1人1台に限ります。
詳しくは税務課までお問い合わせください。

納期限までの納付をお願いします!



お問い合わせ先 税務課 ☎22-3116

児童手当支払通知書の廃止について

お知らせ

1. 定期支払通知書の廃止について

令和6年10月1日の児童手当制度の改正に伴い、支給日前に送付していた「支払通知書」については、省資源化・事務経費の削減のため、令和7年6月期分(4月分・5月分)から廃止します。ご理解とご協力のほど、よろしくお願い致します。

今後の支給金額などの確認については、支払日(偶数月の10日※)以降に、通帳の記帳によりご確認ください。
※偶数月の10日が土日祝日となる場合は、前営業日が支払日となります。

2. 定期支払通知書廃止以降の支払通知書の発行について

やむを得ない事情で、支払通知書が必要となる受給者の方は、下記担当課の窓口にて発行手続きをお願いします。

○発行に必要なもの

受給者の本人確認ができる証明資料(マイナンバーカード、運転免許証など)

○注意事項

- 原則、受給者本人からの依頼に対して随時発行します。申請から発行まで時間を要するため、来庁される前に事前連絡をお願いします。
- お電話でのお問い合わせは、本人確認ができないためご対応できませんので、あらかじめご了承ください。



お問い合わせ先

町民課 ☎22-3117
大正町民生活課 ☎27-0112
十和町民生活課 ☎28-5112

○休日在宅当番医

月日	医院名	電話番号
4月13(日)	くぼかわ病院	☎22-1111
20(日)		
27(日)		
29(火)		
3(土)		
4(日)		
5月5(月)		
6(火)		
11(日)		

❗ 休日水道修理当番は窪川地域のみです。
大正・十和地域の方は各地域振興局にお問い合わせください。
大正 地域振興課 ☎27-0111
十和 地域振興課 ☎28-5111

○休日水道修理当番

月日	業者名	電話番号
4月12(土)	日化住宅機器	☎22-0407
13(日)	宮脇水道	☎22-1581
19(土)	高橋設備	☎22-0662
20(日)	桑原水道	☎22-1163
26(土)	横山水道設備	☎22-3608
27(日)	岩本商店	☎22-2716
29(火)	日化住宅機器	☎22-0407
3(土)	宮脇水道	☎22-1581
4(日)	高橋設備	☎22-0662
5月5(月)	桑原水道	☎22-1163
6(火)	横山水道設備	☎22-3608
10(土)	岩本商店	☎22-2716
11(日)	日化住宅機器	☎22-0407

コミュニティバスの運賃について

お知らせ

令和7年6月から経路を変更する十和地域コミュニティバス全線については、現在のコミュニティバスの料金設定と同様に1乗車100円(小学生以下50円、ただし、同乗する大人ひとりにつき未就学児ひとりが無料)での運行を検討しています。
上記の運賃に関する意見などがありましたら、右記の方法でご提出をお願いします。
詳細はホームページをご覧ください。

- 提出先 企画課 地域振興係
- 提出方法 郵送 〒786-8501 四万十町琴平町16-17
FAX 22-3123
メール 103030@town.shimanto.lg.jp
- 提出期限 4月24日(木)17:00必着



お問い合わせ先 企画課 ☎22-3124

高南農業改良普及所の庁舎移転について

お知らせ

新庁舎建て替えにともない、令和7年3月に高南農業改良普及所の庁舎を、以下のとおり移転しましたのでお知らせします。

新住所

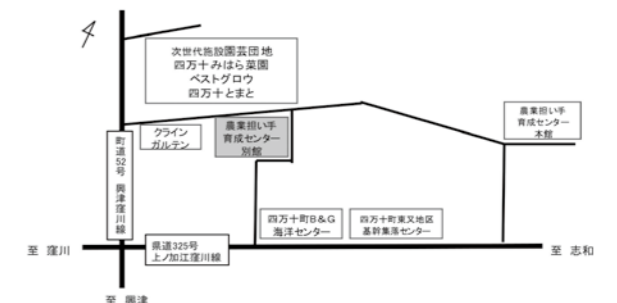
〒786-0043高岡郡四万十町本堂595
(農業担い手育成センター別館)
※西部家畜保健衛生所と同じ建物

新電話番号

24-0350/24-0351/24-0352
※いずれかの番号におかけください。

新FAX番号

24-0360



お問い合わせ先

須崎農業振興センター
高南農業改良普及所 ☎24-0350

令和6年度 入札結果
(令和7年2月実施分)について

入札結果は、町ホームページにて確認することができます。
また、右の二次元コードから読み込むことも可能です。



令和7年度太陽光発電設備等設置費補助金について

お知らせ

「太陽光発電設備等設置費補助金」の交付についてお知らせします。

- **補助対象** ①居住している町内の住宅(店舗、事務所など併用住宅を含む)または居住を予定している新築もしくは改築する住宅(同一敷地内の倉庫、カーポートも含む)に太陽光発電設備と蓄電池設備(移動式蓄電池を除く)を設置、またはV2H充放電設備を導入する個人。すでに太陽光発電設備を導入している場合は、蓄電池設備もしくはV2H充放電設備のみの導入についても補助の対象。
②実績報告書を提出する日において、四万十町の住民基本台帳に記載がある方
③県税および町税を滞納していない方。
- **補助限度額**
 - 太陽光発電設備:太陽電池パネル容量またはパワーコンディショナー容量の小さい方×4万円/kwの額以内(限度額20万円)
 - 蓄電池設備:蓄電容量×4万円/kwの額以内(限度額40万円)
 - V2H充放電設備:銘柄ごとの国補助金の上限額×0.4か購入費×0.2のいずれか少ない金額(限度額30万円)
※太陽光発電設備のみ設置の場合は、補助の対象外となります。
- **注意点** 補助金の対象となる事業は、補助金交付決定後に契約し実施される事業のみとなりますので、ご注意ください。

申込・お問い合わせ先

環境水道課 ☎22-3119
大正町民生活課 ☎27-0112
十和町民生活課 ☎28-5112

令和7年度飼い主のいない猫への不妊・去勢手術費補助金について

お知らせ

「飼い主のいない猫への不妊・去勢手術費補助金」の交付についてお知らせします。

- **補助対象** ①四万十町内に生息する飼い主のいない猫(所有者がいないことが明らかであるもの)が対象。
②申請者は飼い主のいない猫を管理している四万十町内を所在地とする団体に限る。
③手術後に不妊・去勢手術済みであることが分かる耳カット処置(領収書に耳カット処置ありの記載)が必要。
※飼い猫・営利目的に飼養管理している猫は対象外となります。
- **補助限度額**
 - メス猫:1匹につき限度額15,000円(実費費用金額)
 - オス猫:1匹につき限度額10,000円(実費費用金額)
- **申請方法** 申請者は、手術を実施した日の属する年度の末日(令和8年3月31日)までに、申請書兼請求書と手術にかかった領収書および関係書類を添えて担当課に提出してください。
※予算が無くなり次第終了となりますので、申請予定の方は手術前に補助金があるかどうかの確認をお願いします。



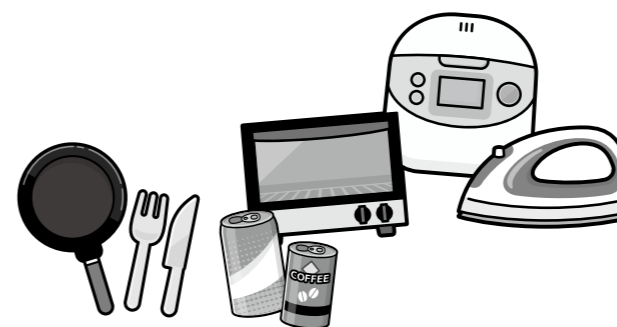
申込・お問い合わせ先

環境水道課 ☎22-3119
大正町民生活課 ☎27-0112
十和町民生活課 ☎28-5112

金物類のリサイクルにご協力ください

お知らせ

- 金物類はリサイクル可能な資源ごみです。
町指定の資源ごみ袋に入れて、重さ10kg以下で出してください。
- 缶類、鍋、やかんなど金属製のもの。
- 一部でも金物が入っていれば金物類です。
- 電池や電気で動く家電製品(ドライヤー、扇風機、トースター、おもちゃなど)。
※電池が入っている場合は必ず取り外してください。電池はビン類の収集日に出してください。
- アルミ箔を加工して作られた食器(鍋焼きうどんの皿など)、ラップやアルミホイルの切る部分の金物、台所用アルミガード(油はね防止)なども金物類として回収しています。
※飲食用で使用されたもので、汚れのひどいものはリサイクルできません。できるだけきれいに洗ってください。



お問い合わせ先

環境水道課 ☎22-3119
大正町民生活課 ☎27-0112
十和町民生活課 ☎28-5112

令和7年度合併処理浄化槽設置整備補助金について

お知らせ

「合併処理浄化槽設置整備補助金」の交付についてお知らせします。

- **補助対象** ①令和8年3月10日までに確実に完成できる方
②店舗などの併用住宅の場合は、居住部分の延床面積が全体の2分の1以上であること
- **補助限度額**
5人槽…332,000円 7人槽…414,000円 10人槽…548,000円
- **人槽の目安(基本的に建物の延床面積で計算)**
130㎡未満…5人槽 130㎡以上…7人槽 二世帯住宅…10人槽
- **追加補助** 以下の方は、追加補助がある場合があります。
・くみ取り便槽から合併処理浄化槽へ切り替える方
・単独浄化槽から合併処理浄化槽へ切り替える方
・放流先の配管が10m以上の長さを要する方
※追加補助の詳しい内容は下記までお問い合わせください。
- **申込方法** 環境水道課・各地域振興局町民生活課および出張所にて補助金申込書を提出してください。
※申し込みの際は建物の延床面積が必要です。
- **注意点** 補助金の対象となる事業は、補助金交付決定後に着工する事業のみとなりますので、ご注意ください。

☆合併処理浄化槽の放流水の放流先については、法的には同意書の添付は必要ありませんが、トラブルの原因とならないよう設置者において水路の管理者などにご確認をお願いします。

申込・お問い合わせ先

環境水道課 ☎22-3119
大正町民生活課 ☎27-0112
十和町民生活課 ☎28-5112

国民年金からのお知らせ

お知らせ

【退職した時は国民年金への加入手続きを!】

会社を退職した時は、厚生年金から国民年金への切替え手続きが必要です。手続きができていない場合、その期間が未納となり、もしもの時に障害年金や遺族年金が受け取れないなどの不利益が生じる場合があります。

必要書類 … 退職した日が分かる書類、本人確認書類

【退職(失業)による特例免除制度をご利用ください!】

収入の減少や失業などにより、国民年金保険料を納めることが経済的に困難な方は、申請によって保険料の納付が免除される制度があります。

通常、保険料が免除されるためには、申請者本人・配偶者・世帯主の所得が所得基準の範囲内である必要がありますが、特例免除制度では、審査の対象となる申請者本人の所得を除外して審査を行います。

必要書類 … 雇用保険受給資格者証、雇用保険受給資格通知または雇用保険被保険者離職票の写し
申請先 … 役場国民年金担当窓口・お近くの年金事務所

【今年度の出張年金相談所開設について】

- 日 程 6月4日(水)・12月3日(水)
- 場 所 四万十町役場本庁
※相談を希望される方は、事前に高知西年金事務所へ予約をお願いします。

お問い合わせ先

- 高知西年金事務所 ☎088-875-1717
※お問い合わせの際は、お手元に基礎年金番号の分かる年金手帳や年金証書をご用意ください。
- 町民課 ☎22-3117
大正町民生活課 ☎27-0112
十和町民生活課 ☎28-5112

四万十町の魅力を
公式SNSで発信中!

Instagram

四万十町の四季折々の風景を写真や動画で配信中



フォローといいねを
よろしくお願いします!

YouTube

観光スポットの紹介や町の人々の暮らしを映像で配信中



チャンネル登録と高評価を
よろしくお願いします!

LINE

防災情報やイベント案内など暮らしに役立つ情報を配信中



友だち追加を
よろしくお願いします!

松葉川地域「農業支援住宅」に住んでみませんか

1.「農業支援住宅」とは

人口減少や高齢化が急速に進展する農山漁村においては、移住定住対策や農業後継者を含めた地域活性化を担う人材の確保が重要となっています。そんな中、平成28年度に農林水産省が掲げたのが「住むこと」への支援を重視した「農家住宅」構想です。平成29年3月に四万十町を含めた全国6地区が、この構想の下に農家住宅モデル地区に選定されました。

2.「農業支援住宅」の基本構想づくり

選定を受け四万十町では、平成29年度に四万十町就業・定住促進協議会を設立し、農業者組織などを中心に地域の現状・問題・課題・原因など各地域で協議を重ねてきました。

松葉川地域(米奥)では、平成30年度からほ場整備を進め、併せて集落営農法人の設立など、農業を基盤とした地域営農の継続を目指す構想が立てられました。

農業の担い手不足を解消し、地域農業の振興および地域の活性化を図るため、自営就農者などに対する住居確保を目的として、令和6年度に3棟の農業支援住宅を整備しました。

3.「農業支援住宅」の特徴

- 1.住宅性能評価基準を設け、安全性と快適さを追求!
- 2.農作業の利便性を考慮した設計!
- 3.広い敷地で複数の駐車も可能!

入居者募集

名称	床面積	構造	間取り	家賃/月
米奥団地1号	62.09㎡	木造平屋建	2LDK	28,000円
米奥団地2号	93.13㎡	木造平屋建	3LDK	36,000円
米奥団地3号	93.13㎡	木造平屋建	3LDK	36,000円



- 入居条件 次に掲げる条件をすべて満たす方
 - (1) 本町で自営就農する方(兼業農家を含み、耕作面積が30a以上または農産物の年間販売金額が50万円以上を目標とする方)または本町に所在する農業法人などで雇用就農する方
 - (2) 自治会活動、その他の地域活動に積極的に参加する意思がある方
 - (3) 現に住宅に困窮していることが明らかの方
 - (4) 本町に納付すべき公租公課を完納している方
 - (5) 入居しようとする世帯員が暴力団員でないこと
- 入居期間 入居から3年間
- 募集・受付期間 4月10日(木)~4月30日(水)
- 必要書類 申込書・納付状況調査同意書・住民票・課税証明書
- 申込書配布場所 建設課、大正・十和両地域振興局、興津出張所
※四万十町ホームページからダウンロードできます。

お問い合わせ先 建設課 ☎22-3120

半平 春の小盆栽展

イベント

四万十町出身(高知市在住)の笹岡良吉さんの小盆栽展を開催。手のひらに載るほどの小さな小さな盆栽もあり、どの盆栽も笹岡さんの愛情いっぱいです。笹岡さんの手で、丁寧に育てられた小さな和の世界をお楽しみください。

- 日時 4月19日(土)・20日(日)9:00~16:00
- 場所 古民家カフェ半平
- 参加費 無料



お問い合わせ先

古民家カフェ半平 ☎22-2101

第22回よってこい四万十

イベント

今年も5月3日、十川のこいのぼり公園で「第22回よってこい四万十」を開催!

上空にこいのぼりが舞う中、お子さまが楽しめるさまざまな催しのほか、地場産品やキッチンカーによる飲食物の販売も。皆さま、ぜひお越しください!

- 日時 よってこい四万十
5月3日(土)10:00~15:00
こいのぼりの川渡し
4月13日(日)~5月10日(土)
- 場所 こいのぼり公園(四万十町十川)



お問い合わせ先

こいのぼり交流の集い実行委員会
事務局(十和地域振興局内) ☎28-5111

「四万十町通信」の広報委員募集

募集

毎月10日に発行している四万十町の広報紙「四万十町通信」。町の情報や楽しい話題などを、より分かりやすくお伝えするために、広報委員を募集します。毎月1回の広報委員会に参加して、広報紙への自由な意見、提案をしてみませんか。

- 内容 広報委員会への出席(月1回)
広報の充実に関わる提案 など
※原稿の作成や取材業務などはありません。
- 応募資格 四万十町在住の方で、
広報に興味のある20歳以上の方
- 募集人員 若干名
- 任期 1年(6月~翌年5月末日)
- 報酬 5,000円/回
- 募集期限 5月8日(木)

※面談(5月中旬予定)のうえ決定します。

申込・お問い合わせ先 企画課 ☎22-3124

町の課題について、積極的に考えるようになった。

紙面づくりを通して、自分自身の成長につながった。



「アンデパンダン展」作品募集

募集

四万十町立美術館で開催される、アンデパンダン展(絵画の部・工芸の部)に出品する作品を募集します。アンデパンダン展とは、「誰でも自由に出品できる無審査かつ無償の展覧会」です。たくさんのお待ちしています!

- 出品申込期間 6月1日(日)~6月15日(日)
- 搬入日 6月27日(金)・28日(土)
- 開催期間 7月5日(土)~8月22日(金)
- 出品資格 四万十町在住者、四万十町出身者、現在四万十町内に通勤または通学している中学生以上の方。また四万十町に縁のある方。
- 応募作品 絵画の部(油彩画、日本画、水彩画、パステル画、版画など)
●作品規格:30号まで ●出品数:3点まで
工芸の部(陶芸、彫刻、切り絵、染物、鍛金、木(竹)工、押し花、パッチワーク、その他の工芸)
※1m以上のもの、重量のあるものはご相談ください。
※高南台地総合美術展および町内の展覧会に出品したものは出品できません。
- 申込方法 来館または電話でお申し込みください。

申込・お問い合わせ先

四万十町立美術館 ☎22-5000

すくすく

大正

たむら ここな
田村 心奏さん
令和6年4月20日生まれ

すくすく大きくなってね♡
(英之・沙也香より)

3歳頃までのお子さまを募集しています! 応募はこちらから →

【お問い合わせ先】
企画課 ☎22-3124

猫の
飼い方
について

放し飼いや野良猫に無責任に餌を与える行為が、苦情や不幸な猫を増やすこととなります。地域の生活環境を良好に保つためにも、糞尿の処理、不妊・去勢手術を含めてお世話しましょう。

お問い合わせ先 環境水道課 ☎22-3119

2025年度の「じゆうく。」

いつも「じゆうく。」を応援いただきありがとうございます！
 いよいよ新年度がスタート。「じゆうく。」では、生徒さんのさまざまな「やってみたい」を
 応援するサービスを展開しています。2025年度も、生徒の皆さんが
 たくさん挑戦できるようなサポートをしていきます！

やりたいことを
形にしたい！



昨年度は、生徒のさまざまな「やりたい」を形にしてみました。写真は「花でまちを元気にしたい！」とプロジェクトを始めた生徒の例です。

高校の勉強は
難しく大変...



科目授業を実施していますが、宿題やテストなどはありません。学ぶことを「楽しい」と思える授業づくりをしています！

定期テスト
頑張るぞ！



相談ができる部屋や、集中できる個別ブースなど、さまざまなニーズに合った環境を用意しています。

居場所が
欲しい！



ゲームをしてもよし、スタッフとお話してもよし！授業前後も教室はにぎわっています。

地域に出て
活動してみたい！



マルシェに出店したり、観光を盛り上げたり。地域でもさまざまな活動ができます。

将来のことを
考えたい！



興味関心を一緒に探るところから、就職試験や大学・専門学校の受験サポートをしています。

塾に関する情報

開室日時 平日16:30~20:30

テスト期間やプロジェクトによる例外もあります。

新年度入塾説明会

4月上旬予定です。
 詳しくは合格者登校日にお知らせします。

中学部の開始時期について

詳細が決まりましたら、学校を通じてお知らせします。

進学実績

・高知県立大学・桜美林大学・幡多看護専門学校
 ・高知工科大学・共立女子大学・大阪テクノロジー&
 ・岡山大学・阪南大学 デザイン専門学校
 ・同志社大学・大阪経済大学 など

就職実績

・県内公務員
 ・県外公務員
 など



町営塾「じゆうく。」

☎050-5482-333

四万十町役場人材育成推進センター

☎0880-22-3163



川口 由芽子さん
 (市民ランナー)



走ることにつながる

早朝の三島キャンプ場に、四万十町内外から約100人のランナーが集まった。未舗装の山道を走る「十和トレイルランニング」。序盤の集団から抜け出した川口由芽子さんが、両手を挙げてフィニッシュラインを駆け抜けた。

「めっちゃしんどい」と言いつつ満面の笑み。女子ショートの部で5連覇を果たした。レースを終えた他のランナーが次々に「おめでとう！」「ユメちゃん、さすが」と声をかける。「走ることで知り合った人ばかり。いろんな年代の方とこうやってワイワイできるのは本当に醍醐味ですね」と笑う。

道なき道を行くトレイルランから、100キロを走破するウルトラマラソンまで。高知県内の大会で入賞する実力の川口さん。ストイックなアスリート、のイメージとは遠いニコニコ顔で、周りを明るくするようなランナーだ。

ランニングを始めたのは2017年。当時、父親が「四万十川桜マラソン」の実行委員長を務めていて、関係者の打ち上げで「次は走ってや」と誘われた。バレーボールの経験し

かなかったが、「ダイエットのために」と走り始めた。

育児と仕事の合間を縫って週に2回、2キロずつからスタートし、少しずつ距離を伸ばした。「5キロ走れるようになったのがうれしくて。子どもたちが寝てる朝5時くらいから、もうどんどん走る距離が伸びて」。走ると気分が晴れたし、知らなかった風景にも出会えた。そのうち、町内のランナー仲間と一緒に走る機会も増えた。

初のフルマラソンは2018年の桜マラソン。経験者にアドバイスをもらいながら走り、4時間以内で完走する「サブ4」を達成した。「ゴールした後の『やったー！』っていう達成感。これは走った人にしか分からないですね。あとはおいしいご飯とビールを楽しみに走るっていう」。

今年の桜マラソンにも出場し、女子6位に入った。「走ること一つですごく人とつながれるので、やっていて良かったなって思います」。小さい頃、よく大会に連れてきていた2人の子どもの今は今、どちらも陸上部で汗を流している。

町にはこんな waza も

ミニバスのキャプテンで活躍！ 林 新大さん 窪川中学校1年

体育の授業をきっかけに小学5年生からバスケットを始め、窪川ミニバスケットボールクラブでキャプテンを務めた。中学校でもバスケットを続け「シュート率を上げて、うまくなって試合にたくさん出たい」。河村勇輝選手が憧れ。

こだわりの「技」できらりと光る四万十町の人々を紹介します。
 ちょいwaza!!は随時募集中!▶



ちょい waza!!

このコーナーでは、県立窪川高校、県立四万十高校、町営塾「じゆうく。」での生徒たちの活動を月替わりで紹介します。



対岸を包むように湾曲する
川の外周と背後の深い山々

河岸が長く、奥行きもあり広大

井崎地区は、対岸にある半島型の広瀬地区をぐるっと包んだような位置にある。湾曲する四万十川の内側が広瀬で、外側が井崎。つまり円の外周になる井崎は距離も長い。また奥行きもあり広大で、北は小野と、東は大井川と、南は旧中村、西は西土佐と隣接している。地区は保喜、中組、実弘、井崎谷、相後、柳瀬の六つの組に分かれている。地区全体の産土神は八坂神社だが、合祀されている河内神社も同格とされている。また、保喜、井崎谷、相後、柳瀬にもそれぞれに神社があり、各々大切に祀られている。



同格で祀られている八坂神社と河内神社

地名は古代の漁網の原料名から？

前号では「^{せきすい}広瀬遺跡で大量に出土した石錘から、その時代にはすでに網を使って魚を獲っていたと考えられている」と書いた。さてこの網について。当時の網の原料としてアオイ科の繊維植物「イチビ」が使われていたとされ、この「イチビ」のことを方言で「イサキ」と言ったらしい。これが地名の由来ではないかという説が「ふるさとの地名(十和村教育委員会・昭和57年刊行)」に記されている。イチビは古代に中国から伝来し、繊維植物として利用されていたことは広く知られているが、縄文期に、これほどの山奥にまでその技術が伝わっていたことに驚く。

地検帳の謎

江戸期の地検帳によると井崎村は「小野内井崎村」とあり、小野村を構成する一村であった。ところが同じ地検帳に、四万十川の対岸(西側)にある広瀬村は、井崎村の東側に位置する大井川村を構成する一村と記されているようだ。それだと井崎村を跨いだ形になる。この謎を解く鍵になるかもしれないことを聞いた。

大井川の最南部に八木という地区がある。ここから四万十川にかかる広井大橋付近に向かって流れる井崎川に沿って井崎谷集落が展開されている。実はこの井崎谷、元は大井川の一部だったらしく、井崎地区となったのは戦後になってからだという。地区の翁は言う。「大井川だった昔の名残だろうか、井崎地区となってからも井崎谷の人が谷を下って来る時は、井崎へ行くと言っていた」と。井崎谷が一本の線となり、大井川と広瀬を繋げていたということなのだろうか。

さて、この井崎川が四万十川に合流する辺りには小学校があった。明治8年、十川小学校の前身である大野小学校の分校として開校し、その後十川第三小学校として独立。昭和32年には井崎小学校と改称。さらにその2年後広瀬に移転し広井小学校となった。(次回に続く)

町のうごき

(2月28日)	人口	前月比	出生	死亡	転入	転出
男	7,166	-25	男 1	19	8	15
女	7,705	-19	女 2	16	9	14
計	14,871	-44	計 3	35	17	29
世帯数	7,924	-6	(2月中の届出)			

窪川地域 10,613人 大正地域 2,039人 十和地域 2,219人